

第6回 北区まちづくり懇話会 会議録（要旨）

- 1 日 時 平成30年10月26日（金） 午前10時00分～午前11時00分
- 2 場 所 北区役所2階 第1・2会議室
- 3 出席委員 （敬称略、五十音順）
石橋敏郎、石村美生見、上野祥子、小仲邦生、小柳高子、境俊次、
坂田治之、竹熊千晶、溜渕勝徳、平野久美子、松野はるみ、村上智弘
（以上、12名）
- 4 傍 聴 1名
- 5 会議次第
 - （1）開会
 - （2）会長あいさつ
 - （3）第3期熊本市北区まちづくり懇話会の開催経緯について
 - （4）第3期熊本市北区まちづくり懇話会提言書について
 - （5）その他
 - ・2年間の振り返りについて
- 6 会議（要旨）次のとおり

会議（要旨）

（１）開会

（２）会長あいさつ

（石橋会長）

北区のまちづくりについて、これまで数回のワークショップで議論してきたが、議論で出た意見をもとに、まちづくりの大きな方向性を示す提言書（案）を事務局に作成いただいた。今回はこの提言書（案）について検討いただき、多少の修正があればそれを加えた上で、承認いただき、野口北区長に提言書をお渡ししたいと考えている。

（３）第３期熊本市北区まちづくり懇話会の開催経緯について

総務企画課長より説明

（４）第３期熊本市北区まちづくり懇話会提言書について

総務企画課長より提言書（案）について説明

（石橋会長）

提言書（案）が示されているところであるが、意見等あれば賜りたい。これまでのワークショップで皆さんから出された「笑顔」「場の創出」「支え合い」といったキーワードを中心にまとめられたものである。

この提言書（案）に示した方向・提言内容で北区のまちづくりを進めていっていただくということによいか。

（出席委員）

はい。

（石橋会長）

提言書（案）の承認をいただいたので、本日、野口北区長に提言書として提言したいと考えている。

－ 石橋会長より野口北区長へ提言書の提出 －

(石橋会長)

第3期熊本市北区まちづくり懇話会において提言書をまとめましたので、お渡しいたします。具体的な事業の実現に向け、よろしくお願いいたします。

(野口北区長)

第3期の北区まちづくり懇話会において、このような提言書をいただき、感謝している。めざす区の姿に向けた2つの方向性をまとめていただくとともに、具体的な取組まで話を進めていただいた。ラグビーのワールドカップ開催など今後迎えるスポーツイヤーに向けた取組については、市役所だけではなく県下で一丸となって取り組まなければならないもので、それについても先進的なところまで踏み込んでいただき感謝している。また、石橋会長が日頃からおっしゃっている「まちづくりについて正解はない」ということについて、私もそう思っている。私たちは「1+1=2」というような教育を受けてきたが、今は「2」という一つの目標があり、その正解を出すためにどうしたらいいかを考える、またそのような力をつける教育が大事だと聞いている。柔軟で多様な一つではない答えを皆で考えていくことが、世の中を支える力となると理解をしており、今回、めざす区の姿に向けた2つの方向性を示していただいたことを特に重く受け止めている。予算を伴う事業については限りがあるものの、方向性を意識して、来年度以降、区の予算・事業等へ反映していきたい。また、市の政策・施策において、皆さんの意向を反映させていくことも区の役割だと思っている。委員の皆様それぞれに自主的に活動されていることも含めてすべてがまちづくりである。私たち北区も皆さんと二人三脚で進めていきたい。来年は、新しい年号となるが、その新しい時代のスタートにふさわしい2つの方向性と受け止め、みなさんと取り組んでいきたい。

第3期熊本市北区まちづくり懇話会に御礼を申し上げるとともに、今後ともよろしくお願いいたします。

(5) その他

・2年間の振り返りについて

出席の委員より一言ずついただく(略)

・さいごに(会長より)

(石橋会長)

私たち自身、北区に住んでいながら、北区のことを良く知らない、近くにどんな人が住んでいるのか良く知らない状況にあたりする。日々の生活や仕事に追われているものの、このような機会にお互いを知り、地域を知ることが大事だと思う。これまでのワークショップにおいて、性別・年齢・仕事にかかわらず、いろいろな考えを持っている方がおられるのを知り、共通のものを探していったと思う。こうしたことをそれぞれの

地域でされれば、まちづくりというのは自ずと実現されると思う。地域によっては、高齢者が半分以上を占める地域も出てくるかと思うが、行政だけに頼るのではなく、お互いに助け支え合わなければならない。私も熊本地震で3日間避難所での生活を経験して、人は助け合わなければ生きていけないということを改めて実感したものである。

第3期北区まちづくり懇話会では、2つの特徴があったと思う。1つめは、懇話会に高校生と大学生が参加されたということ。大学生がワークショップに入って意見を盛んに言い、最後は代表として発表していた。高校生もこういった場に入ることに緊張があったであろうが、皆さんの意見をしっかり聞いて、高校生が発表する姿を見て、非常に感心した。2つめは、各区で懇話会を開催されていると思うが、提言書としてまとめるということはどこでもしているわけではない、ということ。私たちの思いを文字に起こして、提言書として残すのは非常に意義のあることだと思っている。

2年に亘り、北区のまちづくりのためにたくさんの意見を出して下さり、またそういった意見を集約し会議の準備を行ってくださった区長をはじめとした北区の皆さんに御礼を申し上げます。2年間ご苦労様でした。